

はじめに

卵巣や子宮は、女性ホルモンの分泌・月経・妊娠・出産に関わる「女性にとって特別な臓器」です。また、パートナーとの性生活 (Sexual intimacy) は、暮らしの大切な要素です。子宮や卵巣は性機能に直接的に関与するため、手術を受けるにあたって、不安にならない女性はいません。

筆者らが行った調査によると、卵巣や子宮の手術を受ける女性の多くは、手術後の性機能や性生活についてさまざまな疑問や不安を抱いています¹。手術前に知りたいと思っても、デリケートな問題なので主治医や看護師に相談するのをためらい、親しい知人に聞いたり、インターネットを頼る人がほとんどです。しかし、それでは十分な情報を得ることができません。一方で、主治医や看護師の側も、性機能や性生活に関する話題は避けがちで、また情報自体も不足しているため、正しい情報が十分に提供できていないようです。

そういった現状の改善を目指し、卵巣や子宮の手術を受ける女性とそのパートナー、そしてケアに関わる医療者に向けて、本書を用意しました。婦人科腫瘍手術・がん治療を専門とする医師の立場から、病気・手術が心身に及ぼす影響、術後の性機能や性生活に関する情報をわかりやすく説明しています。術後の生活をより安全で快適なものにするために、ぜひ、参考にしてください。

2023年5月1日

大阪国際がんセンター婦人科
部長・医学博士 馬淵 誠士

もくじ

はじめに 3

第1章

基本的な知識 6

- ① 卵巣・子宮・性ホルモンとは 6
- ② 腔と腔分泌液 7
- ③ 性機能障害 8

第2章

卵巣を摘出する方へ 10

- ① 卵巣を摘出する手術とは 10
- ② 卵巣摘出の影響 11
- ③ 術後の性生活で注意すること 17

第3章

子宮を摘出する方へ 20

- ① 子宮を摘出する手術とは 20
- ② 子宮摘出の影響 21
- ③ 術後の性生活で注意すること 28

第4章

子宮頸部を円錐切除する方へ 30

- ① 子宮頸部の円錐切除術とは 30
- ② 円錐切除の影響 31
- ③ 術後の性生活で注意すること 35

第5章

術後の性生活を充実させるために 36

第6章

がんの診断・治療の影響 41

- ① がんの診断がもたらす影響 42
- ② がん治療がもたらす影響 44

第7章

パートナーに知ってほしい10のこと 50

第8章

[参考] 性的興奮はどのようにして起こるのか? 56

文献リスト 62

あとがき 65

第2章

卵巣を摘出する方へ



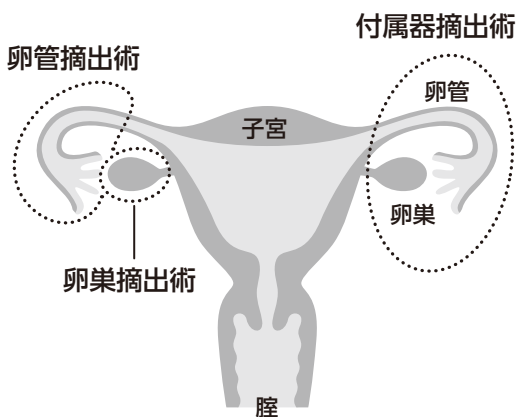
1 卵巣を摘出する手術とは

卵巣の摘出術は、主に良性または悪性の卵巣腫瘍に対して行われます。

手術の種類には、左右どちらかの卵巣を摘出する片側卵巣摘出術と、2つとも摘出する両側卵巣摘出術があります。どちらの手術になるか

は、病状や年齢によって決まります。比較的若くて良性疾患の場合は片側卵巣摘出術、50代半ば以上の場合や悪性疾患の場合は両側卵巣摘出術が多いです。

また、卵巣を摘出する際には、卵管も同時に切除する場合が多く、これを付属器摘出術と呼びます。どの手術も図のようなラインで行うので、子宮や膣は傷つけません。



2 卵巣摘出の影響

卵巣は、性ホルモン（女性ホルモンと男性ホルモンの両方）をつくり、女性の若さと活力、そして健康を保つ働きをしています。卵巣を摘出すると、性ホルモンの量が減少し、体調が変化する可能性があります。

また性ホルモンは、膣分泌液をつくるのを促したり、性欲にも関係し

ているので、卵巣を摘出すると、性機能や性生活にも何らかの影響が現れる可能性があります。以下に詳しく説明します。

なお、卵巣のみを摘出した場合と、卵巣と同時に子宮を摘出した場合では、性機能や性生活への影響は異なります。子宮を同時に摘出した方は「第3章」もご覧ください。また、悪性腫瘍（がん）の手術を受ける女性は「第6章」もご覧ください。

1. 心身への影響

Q 身体にどんな影響がありますか？

卵巣の摘出手術は、決して小さな手術ではありません。下腹部の皮膚だけでなく、体内にも傷ができ、術後数週間はその周囲が痛みます。一時的ですが体力も低下します。また卵巣から分泌されていた性ホルモンが減少し、それに伴う症状が出現する可能性もあります。次に詳しく説明します。

Q 卵巣を摘出すると、いわゆる“更年期症状”が起こりますか？

卵巣を摘出する個数と、手術時の年齢によります。

比較的若い女性が片側の卵巣のみを摘出した場合、残った卵巣が代わりに性ホルモンを分泌するので、性ホルモンの量に大きな変化はなく、更年期の諸症状は起こりません。卵巣機能が衰えつつある女性が片側卵巣を摘出した場合、もう一方の卵巣に余力がなく、次の両側卵巣摘出と同じような影響が出ることがあります。

比較的若い、特に閉経前の女性が両側の卵巣を摘出すると、卵巣から分泌されていた性ホルモンがなくなります。その結果、月経がなくなるだけでなく、体調にも何らかの変化（更年期の諸症状）が起こる可能性があります。閉経してから一定の年数が経っている場合は、性ホルモンが低下した状態に体が慣れていることが多く、両側の卵巣を摘出してても体調への影響はほとんどありません。

Q 精神的な影響も大きいのですか？

どんな手術でも、回復期は「順調に治るかな？」と不安になったり、ストレスを感じたりします。特に卵巣は、女性にとって大切な臓器です。女性の象徴だと考える方もいるかもしれません。納得した上で手術を受けたとしても、喪失感は大きく、深く落ち込んでしまう人もいます。なかには「パートナーに女性と見てもらえないのではないかと心配したり、「自分は価値のない人間だ」と思ったり、孤独感を抱いてしまうこともあります。しかし、そんなことはまったくありません。人としての尊厳や価値、女性らしさは決して変わらないので、自信をもってください。多くの場合、精神的な影響は徐々に回復していきます。

